

# 脳卒中の治療は一刻を争う!

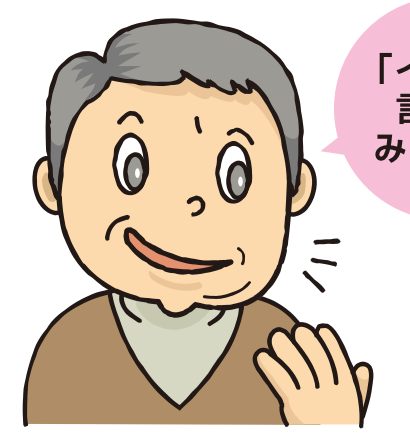


脳卒中とは、脳の血管が詰まったり、破れたりして突然起きる病気です。

あなたの大切な人のために“FAST”を覚えましょう!

「脳卒中の代表的な3つの症状、顔面の麻痺(F:face)、腕の麻痺(A:arm)、言葉の障害(S:speech)に気がいたら、発症時間(T:time)を確認して、すぐに119番」という脳卒中の標語を“FAST”と言います。

**F**ace  
顔がゆがむ



顔の片側が上がらない。ゆがみがある。

「イー」と言ってみましょう

**A**rm  
片側の腕(と足)に力が入らない



両腕を持ち上げたままキープしてみましょう  
どちらか一方が下がってきてしまう。

**S**peech  
うまく話せない



「今日は良い天気です」などの短い文章を言ってみましょう  
ろれつが回らない。言葉が出てこない、理解できない。

**T**ime  
時間が大事!

発症時間を確認して迷わず119番を!



・発症してから限られた時間内にしかできない治療があります!  
・発症から治療を受けるまでの時間が短いほど、後遺症が軽減される可能性が高くなります!

他にも...

次のような症状が突然起きたら要注意!!

- 片方の手足がしびれる
- 視野の半分が欠ける
- フラフラしてまっすぐ歩けない
- これまでに経験したことのない、突然の激しい頭痛
- 物が二重に見える

当てはまる方は **すぐに119番を!**

こんな方は要注意!

- 高血圧 ● 糖尿病 ● 脂質異常症(血液中のコレステロールや中性脂肪が多い) ● 飲酒量が多い ● 不整脈がある
- タバコをよく吸う ● 運動不足 ● 家族に脳卒中になった人がいる etc.

監修 公益社団法人日本脳卒中協会 理事長 神奈川支部長 横浜市支部長 山口 武典・長谷川 泰弘・山本 正博

制作 横浜市病院経営局脳血管医療センター・横浜市健康福祉局医療政策室・横浜市消防局救急課

デザイン 株式会社フロッグカンパニー URL <http://www.frogcompany.jp>

医療を 身近に



## 講演会のお知らせ

### 「脳卒中を知る ~予防から介護まで~」

日時 平成26年 **3月16日(日)**  
開場 12:30 講演 13:30~16:00

会場 関内ホール(大ホール) 事前申込制  
入場料・定員 入場無料 定員1,100人 締切:2月27日(木)

内容 脳血管医療センター 病院長 山本 勇夫、  
小山明子氏による講演ほか

**小山 明子氏** 高校卒業後、洋裁学校時代にファッションショーの出演がきっかけでスカウトされる。昭和29年に松竹映画「ママ横をむいて」で女優デビュー後、数々の作品に出演。昭和35年に映画監督の大島渚と結婚。平成8年に大島監督が脳出血で倒れ、介護に専念するようになる。夫婦二人三脚でリハビリの日々を乗り越え、夫の映画監督復帰を支えた。平成25年に大島監督が亡くなるまでの17年間に渡り、介護に携わった。

申込み・問合せ 講演会の申込方法については、下記の問合せ先へ直接御連絡ください。

問合せ先 横浜市立脳血管医療センター 市民講演会担当  
〒235-0012 横浜市磯子区滝頭1-2-1  
電話: 045-753-2500(代) FAX: 045-753-2859(直通)

横浜市では、万が一脳卒中を発症した際にも、専門医のいる医療機関にいち早く搬送できるように市内医療機関の協力の下、脳血管疾患救急医療体制を作っています。

横浜市 脳疾患 検索